

事業所名		プロッサムジュニア上越春日山教室(放課後等デイサービス)		支援プログラム(参考様式)		作成日		2025年		2月		17日	
法人(事業所)理念		<p>「子供たちの明るい未来を作る」 ・子供たちに何をしてあげられるか?を徹底的に考え行動できる喜びを共有する。 ・絶対的な安心感を与えられる居場所づくり!みんな違ってみんないい! ・子供たちをとり巻く環境に目を配り、関係各所と連携し必要なサービスを提供する。 ・従業員の仕事で最先に夢をかなえられる会社にする!</p>				営業時間		8時30分から17時30分					
支援方針		<p>・集団療育プログラムのほかに個別療育プログラムを用意し、その日の「出来た!」をシステムで見える化(感覚統合・SST・知育・運動・ごっこ遊び等多岐にわたります。)</p> <p>・他者のかかわりを重点に、コミュニケーション能力やルールを吸収する力を充実させます。 ・音楽や体操、絵本などの遊びを通して情操を豊かにします。 ・「サービス」ではなく「ホスピタリティ」でお子様に応じます。</p>				送迎実施の有無		<p>あり なし</p>					
		ねらい		支援内容				具体的な活動や支援内容					
本人支援	健康・生活	<p>(a) 健康状態の把握 健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難であるお子さまの障害の特性及び発達過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、さめ細かな観察を行う。 (b) 健康の促進 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自励具等に関する支援を行う。さらに、病気の予防や安全への配慮を行う。 (c) リハビリテーションの実施 日常生活や社会生活を豊めるよう、それぞれのお子さまに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。 (d) 基本的な生活スキルの獲得 身の回りを清潔にし、食事、衣服の着脱、排泄等の生活上に必要な基本的技能を獲得できるように支援する。 (e) 構造化等により生活環境を整える 生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるように環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。</p>		<p>来所時に体温測定を行い、健康状態を確認します。始まる会では、健康状態や気持ちの表現を質問し、言葉やイラストを選んで自分の気持ちを表現できるよう促します。困り感がある際は、気持ちの絵カードや言葉のモデルを示し、自分で表現できるように支援します。また、日常生活に必要なスキル(食事、排泄、着替えなど)の習得を支援し、教室の目標に慣れ、生活リズムを整えるよう配慮します。</p>									
	運動・感覚	<p>(a) 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 (b) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 姿勢の保持や各種の運動、動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。 (c) 身体の運動能力の向上 自力での身体移動や歩行、歩行者や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。 (d) 保持する感覚の活用 保持する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように、遊び等を通して支援する。 (e) 感覚の補助及び代行手段の活用 保持する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補助器具等の各種の補助機器を活用できるように支援する。 (f) 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応 感覚や認知の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の困りに対する環境調整等の支援を行う。</p>		<p>体操などを通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動能力の向上を目指します。サーキットなどの異なる運動や動作を組み合わせた活動を遊ばせ、筋力、持久力、柔軟性などの運動能力を高めます。注意して取り組んだり、集中して取り組めるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。色や形の異なるブロックや絵本などの教材を用いて、視覚的に理解する力の向上を促します。様々な楽器や音を使った活動、リズムに合わせて体を動かしたり、音を聞き分けたりする活動を通して、楽しい活動の中で聴くことや聴いて理解する力を促進します。</p>									
	認知・行動	<p>(a) 感覚や認知の活用 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 (b) 知覚から行動への認知過程の発達 環境から情報を学習し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につながるという一連の認知過程の発達を支援する。 (c) 認知や行動の手掛りとなる概念の形成 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念を形成することによって、それを認知や行動の手掛りとして活用できるように支援する。 (d) 数量、大小、色等の習得 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。 (e) 認知の困りへの対応 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の困り等の個々の特性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。 (f) 行動障害への予防及び対応 感覚や認知の困り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切な行動への対応の支援を行う。</p>		<p>買い物や料理を通してお金の使い方や計算、時間の管理などを学ぶ機会を提供します。絵本や歌、パズル、時間を計るゲームを使い、楽しみながら空間・時間、数の概念を学び、深めます。お子さまが自ら問題を解決する機会を与え、教材や教具を用いて視覚的に理解しやすく支援を行います。</p>									
	言語 コミュニケーション	<p>(a) 言語の形成と活用 身体的な動作や身体表現の意図を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 (b) 受容言語と表出言語の支援 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、表出する支援を行う。 (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 (d) 指差し、身振り、サイン等の活用 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 (e) 読み書き能力の向上のための支援 発達障害のお子さまなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 (f) コミュニケーション機能の活用 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を選択し、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する。</p>		<p>お子さまの興味や発達段階に合わせて、職員が意図を理解し応答しながら、遊びややりとりを通して人への関心を広げます。表情やジェスチャー、視線などを使ったコミュニケーションを支援し、実際にものを見たり触れたりしながらことばの理解を深めます。歌やリズム、ゲームを通して楽しくことばを学べる環境を提供し、日常生活や活動で新しいことばや概念を学ぶ機会をつくります。また、「買って!」「いっしょに遊ぼう!」などのやりとりを練習する場を設け、職員が見本を示しながら支援します。</p>									
人間関係 社会性	<p>(a) アタッチメント(愛着行動)の形成 人との関係を促進し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 (b) 関係性の獲得 遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の習得を促す。また、社会性や対人関係の習得を促す。 (c) 感覚運動遊びから愛着遊びへの支援 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやごっこ遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (d) 一人遊びから協同遊びへの支援 周囲に子どもがいなくても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (e) 自己の理解とコントロールのための支援 本人を介して自分のできごと、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるよう支援する。 (f) 集団への参加の促進 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。</p>		<p>事前に視覚的な手掛かりを使って丁寧に説明し、お子さまが安心して集団活動に参加できるように支援します。少数での体操やゲームなどの活動を通して、社会性の向上を図ります。また、6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別に面談の機会を設け、保護者と共有していきます。 グループでの協力やコミュニケーションを促す活動を通じて、他者との関わりや協力の重要性を学び、社会的スキルを育てます。お友達との遊びの場面では、職員が関わりながら同じ遊びに興味を持たせ、人との交流を促すようサポートします。ごっこ遊びや共同遊びを通して、社会性を育てる機会を提供し、職員が遊びながら行動やことばのモデルを示します。</p>										
家族支援	<p>・個別療育や集団療育にて行った活動の内容を送迎時(お迎え時)や、写真でサービス提供記録にてお伝えします。 ・6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別に面談の機会を設け、保護者と共有していきます。 ・個別療育の観察の機会を作り、保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。</p>		移行支援		<p>・必要に応じて学校への訪問や電話等で情報共有を行います。 ・行事、各種行事に配慮し、利用調整をします。 ・利用時の過ごしや支援内容を共有し穏やかな移行につなげます。</p>								
地域支援・地域連携	<p>・関係機関で役割分担し、情報を共有を行います。 ・連携会議を定期的に開催し、情報収集、役割分担に関して協議します。 ・各関係機関の情報を基に、具体的な場面で関わり方や、困りごとに関しての提案やポイントを共有します。 ・併用利用事業所との連携、情報共有を行います。</p>		職員の質の向上		<p>プロッサムグループ本部にて下記研修実施 ・スタッフ研修 ・専門職によるスキルアップ研修 ・虐待防止研修 ・身体拘束適正化研修 ・感染症対策研修</p> <p>その他 児童発達支援管理責任者ミーティングにてプロッサムジュニア他教室との情報・意見交換実施</p>								
主な行事等	<p>・地域のイベントへの参加 ・畑の活動 ・買い物、クッキング ・雪遊び ・親子活動(体育館、バーベキュー等) ・交流会(作品展展示会) ・季節の制作</p>												